

# 鶴ヶ曾根下久伊豆神社のまつり

平成12年3月28日 八潮市指定民俗文化財（無形民俗文化財） 平成9年3月18日 埼玉県選択無形民俗文化財  
●八潮市大字鶴ヶ曾根 1821 番地（鶴ヶ曾根下久伊豆神社）

鶴ヶ曾根村のムラ組「下組」の氏子による祭り。

（弓ぶち）毎年1月20日に行われるオビシャ行事で、県の選択無形民俗文化財。祭礼の準備は、かつては各組の宿の宅で準備したというが、現在は神社境内に4つの祭組である四軒組（四軒在家）・八軒組（八軒在家）・鈴組・谷中組の各氏子が集まってそれぞれの組で弓矢や的を作る。的書きは各組によって異なり、朱書きと墨書きで二重円や三重円を描く。そして神饌とともに神前に供え祭礼が行われるが、その際年番の宿の交代儀式であるトワタシ（頭渡し）を行う。その後到的を立て、組ごとにそれぞれの組の的を射る。終了後、公民館で直会（饗応）が開かれる。

（蛇ねじり）毎年4月第3日曜日に行われる辻切り行事。荒縄とともに藁の束をねじって胴体を編む。別に造った蛇の頭部と結合させて藁蛇を完成させ、辻切りに使う笹竹とともに神前に供える。その後参加した氏子全員で藁蛇を持ち、かつてのムラの入口の愛宕神社跡まで練り歩き、その傍らのナラの木に結びつける（現在はナラの木が枯れてしまったため、近くの紅葉の木に架ける）。また下妻道の小作田との境、二丁目との境の中川堤、八条との境（持昌院付近）の道の両側に笹竹2本を立て辻切りを行う。簡素化が進む周辺の行事の中で下組の蛇は大きく見ごたえがあり、古い祭礼の形態をとどめている。



## ◎公開の有無

弓ぶち：1月下旬

（令和4年より、日程が変更になりました）

蛇ねじり：4月第3日曜日

## ◎交通案内

- ・草加駅東口からバス（八潮駅南口行、木曾根行、または八潮市役所経由八潮駅北口行）「エイトアリーナ」下車徒歩2分



本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。